

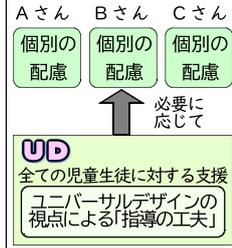
# 一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援の充実

## 本人の思いや願いに基づいた「個別の配慮」

\*Nothing About Us Without Us～私たちのことを、私たち抜きに決めないで～

\*「障害者の権利に関する条約」起草の過程で大切にされた、障害当事者間で使われているスローガン

一人一人の教育的ニーズに的確に応えるためには、児童生徒本人の思いや願いを踏まえることが欠かせません。学習指導要領解説には、障害の種類や程度を的確に把握した上で、障害のある児童生徒などの「困難さ」に対する「指導上の工夫の意図」を理解し、個に応じた様々な「手立て」を検討し、指導に当たっていく必要があります。児童生徒本人と教師の思いや願いを近づけることで指導・支援の充実につながることを期待されます。全ての児童生徒の参加と理解を促進する、ユニバーサルデザインの視点による「指導の工夫」をした上で必要に応じて「個別の配慮」を行います。



「指導の工夫」は、秋田県特別支援教育校内支援体制ガイドライン 四訂版 p40 参照

### 【指導事例】文章を読んだり、内容を理解したりすることが難しいAさんへの指導（通常の学級）

Aさん	困難さの背景	文章を読む際、どこを読んでいるのかが分からなくなるため。
	指導上の工夫の意図	読む部分を分かりやすくする。 聞く力を生かし、音声から内容を理解できるようにする。

### ポイント 本人の思いや願いを聞き取り、「手立て」を提案する。

文を読むときに困っていることは何かな。

どこを読んでいるか分からなくなるので、内容を理解しにくいです。

スリットを使う、文字を指でなぞりながら読む、読み上げ機能を使うなどの方法がありますが、試してみませんか。今試してみてもよいですよ。

スリットと読み上げ機能が分かりやすかったです。まずはスリットを使ってみたいです。

**重要** 「困難さ」が同じ読むことであっても、文字がゆがんで見える、文字を目で追うことが難しいなど、「困難さの背景」はそれぞれ異なります。複数の目による観察や本人との面談を通して、「指導上の工夫の意図」と「手立て」を検討していくことが大切です。

**UD** 学級内の理解促進 個別に配慮されることに不安を感じる児童生徒もいます。学級において間違いや分からないことを受容し、互いを認め合う関係を築くことが、支援を受けやすくする上で最も大事な土台となります。

### ポイント 「手立て」を実施し、効果を確認する。(国語科の授業例)

学習活動	指導上の留意点	個別の配慮 (授: 授業者、支: 支援員)
前時の内容を振り返り、本時の学習課題をつかむ。	・前時の学習を想起しやすいように、前時で使用した掲示物を提示する。 <b>UD</b> 視覚化	授 掲示物を手元で確認できるように、タブレット端末で撮影しておく。 支 授業者の読み上げによって、課題を書くことができているか見取る。
問いに対する答えが説明されている部分を文章から見付ける。(個→ペア→全体)	・第2、第3段落のどちらかを選ばせて、小さな範囲から探すことができるようにする。 ・早く終わったら、もう一方の段落について考えてもよいことをあらかじめ伝える。 <b>UD</b> ルールの明確化 <b>UD</b> スモールステップ化 <b>UD</b> 時間の構造化	授 拡大した本文とスリットを準備し、答えが説明されている部分を見付けられているか机間指導で見取る。 支 必要に応じてスリットの使い方を補助したり文を読み上げたりする。 <b>重要</b> 全体への「指導の工夫」や「個別の配慮」による効果を確認します。効果が見られた場合は、本人がその効果を自覚できるような言葉を掛けることも大切です。

読み終えるのが早くなりましたね。スリットがあると読みやすいですか？

### ポイント 本人と共に、「手立て」の必要性や内容、方法等を確認し、改善する。

理科のテストでスリットを使うと、問題に集中できて驚きました。国語は文字が多いので、読み上げ機能を使ってみたいです。

**重要** 本人の「学びやすさ」に配慮しながら手立ての必要性や内容、方法等を確認することで、児童生徒の自己理解を深め、自ら配慮を求める力を養うことにつながります。

**ICT** 参考情報～文部科学省HPより～

【音声教材に関するページ】  
小・中・高等学校の教科書を様々な形式で無償提供しています。令和6年の法改正で、障害のある児童生徒に加え、日本語指導が必要な児童生徒も使用できるようになりました。  
例：マルチメディアデザイン教科書で読み上げる

【高等学校入学者選抜における受検上の配慮に関する参考資料】  
受検上の配慮とともに、中学校での配慮事項や高校入学後に想定される配慮内容も紹介されています。  
例：漢字と作図以外をワープロ機能で解答

高校受検で、試験官による問題文の読み上げとスリットの使用について配慮を申請しました。現在は、職場で読み上げ機能を使っています。